いちじくのお話（小）

みなさん、こんにちは。今日は、「いちじく」のお話です。

いちじくは、古代エジプトの壁画にえがかれていたり、聖書にも話が出てきたりするように、古くから人々に親しまれ、食べられているくだものです。

いちじくは、夏から秋にとれるおいしいくだもので、愛知県は、日本一のいちじく生産地です。半分に切ると、赤いつぶつぶがたくさんつまっていて、そこを食べています。

食べている部分は「花たく」と呼ばれ、たくさんの小さい花が集まっていて、食べたときに独特の食感があります。このことから、いちじくの花が外から見えないので、花の無い果実という意味の漢字を当てて「無花果」と書きます。

いちじくは、とてもデリケートなくだものなので、ジャムやピューレにして、いつでも食べられるようにしています。

今日は、愛知県で夏にとれたいちじくを使った、いちじくピューレが隠し味に入ったドライカレーです。味わって食べましょう。